

科目名	社会生活行為学	担当教員	山田恭平 佐々木努 仙石泰仁 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	1単位	講義

科目概要	作業療法の介入にあたっては、身の回りの日常生活動作に加えて、対象者の役割に関わる日常生活関連活動への支援が重要である。そこで本科目では、国際機能分類における活動・参加に焦点を当て、地域社会で生活するために必要な諸活動の評価、治療、支援方法について学習する。具体的には、主に障害者や高齢者の家事活動、自動車運転、職業関連活動、障害児・者の就学活動等であり、それらを支援するために必要な知識、制度および他職種連携について学習する。
学習目標	① ICFの枠組みを踏まえた上で、社会生活活動に対する支援の考え方を理解する。 ② 家事・就学・職業関連活動の支援について理解する。 ③ 自動車運転の支援について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	ICFおよび社会生活活動について 生活行為について	ICFおよび社会生活活動について理解する。	
2	生活関連活動	主な対象疾患やその特徴 家事活動などの評価および介入方法について	対象疾患の特徴を理解する。 評価の方法、支援の考え方を理解する。	
3	就学	主な対象疾患やその特徴 法制度について 評価および介入方法について	対象疾患および関連する法制度について理解する。 評価の方法、支援の考え方を理解する。	
4	職業関連活動	主な対象疾患やその特徴 法制度について 評価および介入方法について	対象疾患および関連する法制度について理解する。 評価の方法、支援の考え方を理解する。	
5	自動車運転①	若年・高齢者ドライバーの特徴 法制度について	若年・高齢者ドライバーの特徴を理解する。 法制度について理解する。	
6	自動車運転②	若年・高齢者ドライバーの特徴 評価および介入方法について	運転評価の方法、支援の考え方を理解する。	
7	自動車運転③	脳卒中、高次脳機能障害者の特徴 社会資源、法制度について	対象疾患の特徴を理解する。 社会資源、法制度について理解する。	
8	自動車運転④	脳卒中、高次脳機能障害者の特徴 評価および介入方法について	運転評価の方法、支援の考え方を理解する。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		特に指定しない		
参考図書		(一社)日本作業療法士協会 編『生活行為向上マネジメント 改訂第2版』、2016年 鴨下賢一 他『発達に気になる子への生活動作の教え方—苦手が「できる」にかわる!』中央法規、2013年 三村将 監訳『医療従事者のための自動車運転評価の手引き』新興医学出版社、2011年		
学習の準備		これまでに学習した内容を復習しておくこと。		
オフィスアワー		随時		
担当教員欄に※印を 付した教員の実務経 験				